

外国人材受入れ事例

会社名：(株)カシマ製作所
 URL：<https://www.kashima-ss.com/>
 業種：製造業
 所在地：飯塚市筑穂元吉937-6
 従業員：11名（うち外国人3名）

<外国人材受入れ状況>2023年3月時点（外国人3名）

○技・人・国 ミャンマー人2名（2018年頃～）

○技能実習 ミャンマー人1名（2022年6月～）

①企業の声（受け入れて良かったこと・苦労したこと）

<良かったこと>

- 素直で勤労意欲が高く、遅刻や欠勤がありません。
- スキル向上の意欲が高く、CAD技術の向上、技術開発、日本語能力の向上を常に自主的に実施しており、定期的にミーティング、技術研修を行っているが、吸収力も高いです。
- ミャンマー人は温厚、真面目な国民性を持っており、私生活、職場でのトラブルが全くありません。
- デザインのバランス感覚、最適化の能力に優れており、業務のスピードが早いです。



通訳業務の様子

②受入れや定着を進めるにあたっての工夫・取組

- 日本の業務や生活環境に慣れてもらうために、入国前後に時間をかけて、研修を行っています。また、地域との文化交流を目的に、学校や地域の交流に積極的に参加してもらうようにしています。
- 仕事や生活について、相談が出来るように定期的に個人面談をしています。全員参加のミーティング、ディスカッションも定期的の実施しています。
- 日本語能力試験、自動車免許等の資格取得ごとに交通費を含めた資格取得の経費を全額企業負担とし、取得の際には手当を支給、ベースアップとしています。
- 会社近くに寮を準備しており、電動アシスト自転車を貸与しています。
- ミャンマー人はおしゃれなので、定期的に社長負担で美容室に行きます。
- 現地出張の際には同行してもらい、通訳業務、SV（スーパーバイザー）業務を実施し、仕事の後は家族同伴で会食を設けています。業務終了後は有給休暇により家族との時間を過ごしていただいています。
- ミャンマー人の多くは敬虔（けいけん）な仏教徒であることから、心のよりどころとして、事務室には仏壇を設置しています。ミャンマー人社員達で、お花を供えています。



試験合格の表彰式

③外国人本人の声

- 私は、2月(が)つに嘉穂東高校にボランティアとしてミャンマーの文化について話しました。通常のイベントでしたが、とても勉強になりました。ミャンマーと違い日本は将来の準備が自然にできる国だと思いました。
- 会社では新規事業が始まるので、今後も技術開発を行っていきたいです。
- 私は、来日して以来、色々な経験をしました。日本での生活は、バラエティーに富んでいて、清潔で安全な国、健康管理、公正で先進的な社会、公共交通機関が規則的であるため、すべてがうまく機能します。
- 2月に嘉穂東高校で、ミャンマーの文化について話しました。文化を交換するときうまく話せませんでした。学生たちが分かっている反応を見て楽しかったです。
- 日本に住む外国人のスキルアップに対して言語は重要だと思います。コミュニケーションもマナーも上手く出来るように努力します。



社員旅行(宮城県)



社員旅行(宮城県)